

科目区分：外国語科目（中国語）

授業科目名	中国語					学期	曜日	校時
英語名	Chinese							
担当 教官名	葛城明子	単位数	1単位	必修 選択	必修	前期 前期 前期	火曜日 火曜日 木曜日	校時 校時 校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>私たちが一般に「中国語」と呼んでいるのは、中国で全国的に通用する共通語のことである。中国は国土が広く、日本の約26倍もあり、方言が数多くある（一般に七大方言という）。例えば北と南では発音が大きく異なり、北の人と南の人がそれぞれ方言で話したら、全く通じ合わないことになる。そこで全国共通の言語が必要なのである。共通語は北方方言を基盤とし、北京語の発音を標準音としている。</p> <p>中国語ではその基礎を学ぶ。まず正しい発音ができるようになること。次に挨拶言葉や基本文型を学ぶ。履修生は授業時だけでなく、各自付録のCDを使って、繰り返し発音の練習をしてほしい。</p>								
テキスト、教材等								
<p>テキスト：塚本慶一監修・劉穎著『《新版》1年生のコミュニケーション中国語』（白水社）</p> <p>辞書：武信彰編『プログレッシブ中国語辞典』（小学館）</p>								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
火 - : L c ・ d 火 - : E - 木 - : T 四	各課の「トレーニング」「ヒアリング」は宿題としてやってくる。宿題をやってきたかどうかと定期試験の成績により、総合的に評価する。							
授 業 計 画								
第1回	発音（単母音 声調 子音）							
第2回	発音（子音 無気音と有気音 そり舌音 軽声）							
第3回	発音（重母音 声調符号の付け方 鼻母音）							
第4回	発音（声調の変化 儿化音 挨拶語）							
第5回	第1課	自己紹介（人称代名詞 動詞“是” 助詞“は” 副詞“也” “的”）						
第6回	第1課	トレーニング1 ヒアリング1						
第7回	第2課	これは何ですか？（指示代名詞 “宅” “不” “什担” “的”）						
第8回	第2課	トレーニング2 ヒアリング2						
第9回	第3課	これはいかがですか？（指示代名詞 形容詞述語文 “怎担劍”）						
第10回	第3課	トレーニング3 ヒアリング3						
第11回	第4課	買い物（数詞 助詞“否” 数量を表わす語）						
第12回	第4課	買い物（人民元の数え方） トレーニング4						
第13回	第4課	ヒアリング4						
第14回	復習							
第15回	試験							